

新型コロナウイルス感染症患者の発生について

3月21日、土浦保健所の帰国者・接触者相談センターに相談のあった方が、帰国者・接触者外来を受診し、県衛生研究所で検査を実施したところ、3月22日19時頃に新型コロナウイルスに感染していることが判明しました。

県内で新型コロナウイルス感染症の患者の発生が確認されたのは、4例目です。
本件について、濃厚接触者の把握を含めた積極的疫学調査を行っております。

1 患者の概要

- (1) 年代：40歳代
- (2) 性別：女性
- (3) 国籍：日本
- (4) 居住地：土浦市
- (5) 職業：派遣社員（東京都内の医療機関に勤務）
- (6) 最近の海外渡航歴：なし

2 症状・経過、行動歴

- ・ 3月19日 夜間から発熱（37℃台）、咳あり。
（※以後、医療機関への受診以外は、自宅療養）
- ・ 3月20日～21日 発熱（37～38℃台）。
- ・ 3月21日 発熱が続いていたため、かかりつけ医を受診。
かかりつけ医から帰国者・接触者相談センターに相談し、帰国者・接触者外来を案内して、受診。
- ・ 3月22日 県衛生研究所において、PCR検査を実施し、陽性が判明。

3 その他

当該患者は、感染症指定医療機関に入院しており、患者の病状については、落ち着いています（軽症）。

4 今後の対応

濃厚接触者については、現在調査中ですが、把握できている濃厚接触者（同居の両親）について、PCR検査及び健康観察を実施いたします。

【報道機関の皆様へ】

報道機関各位におかれましては、患者等の個人に係る情報について、プライバシー保護等の観点から、本人等が特定されないことがないよう、提供資料の範囲内での報道に各段のご配慮をお願いいたします。

○新型コロナウイルス感染症とは

ウイルス性の風邪の一種です。発熱やのどの痛み、咳が長引くこと（1週間前後）が多く、強いだるさ（倦怠感）を訴える方が多いことが特徴です。感染から発症までの潜伏期間は1日から12.5日（多くは5日から6日）といわれています。

新型コロナウイルスは「飛沫感染」と「接触感染」によりうつるといわれています。

飛沫感染	感染者の飛沫（くしゃみ、咳、つばなど）と一緒にウイルスが放出され、他の方がそのウイルスを口や鼻などから吸い込んで感染します。
接触感染	感染者がくしゃみや咳を手で押さえた後、その手で周りの物に触れるとウイルスがつきます。他の方がそれを触るとウイルスが手に付着し、その手で口や鼻を触ると粘膜から感染します。

- ・重症化すると肺炎となり、死亡例も確認されているので注意しましょう。
- ・特にご高齢の方や基礎疾患のある方は重症化しやすい可能性が考えられます。

県民の皆様へ

- ◆ 県民の皆様におかれましては、季節性インフルエンザと同様に、咳エチケットや手洗いの徹底などの感染症対策に努めていただくようお願いいたします。
- ◆ 特に、2週間以内に海外渡航から帰国された方は、自宅待機にご協力をお願いいたします。併せて、「帰国者・接触者相談センター」にご連絡ください。
- ◆ 帰国後、渡航中あるいは帰国直後に症状がなくても、潜伏期間（感染してから発症するまでの期間）と言われている14日の間に具合が悪くなる場合があります。
- ◆ センターでご相談の結果、新型コロナウイルス感染の疑いのある場合には、「帰国者・接触者外来」を案内しています。マスクを着用し、公共交通機関の利用を避けて受診してください。

（参考）

- ・「新型コロナウイルス感染症について」（厚生労働省ホームページ）
https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000164708_00001.html
- ・「新型コロナウイルス感染症について」（茨城県ホームページ）
<https://www.pref.ibaraki.jp/hokenfukushi/yobo/kiki/yobo/kansen/idwr/information/other/documents/20200130-corona.html>